

第4章

プラン実現のための戦略と主な取組

戦略Ⅰ

「暮らす人」「訪れる人」がともに楽しめる観光資源の磨き上げ

基本的な考え方

「暮らす人」「訪れる人」の双方の視点から、北九州市の歴史・文化・食・夜景、スポーツ、自然、産品などを改めて発掘し磨き上げ、それを「ストーリー」として「プラスワン観光」に結びつけるための施策に取り組みます。

今後の取組方針

戦略Ⅰ-1 | 北九州市が誇る歴史・文化・食の魅力発掘・一層の磨き上げ

北九州市は、様々な観光客を惹きつける魅力的な観光資源を多く有しています。その中でも、歴史・文化・食は代表的な観光資源です。このような資源の一層の磨き上げに取組むとともに、北九州市の観光の顔となる3地区を重点エリアと定め、それぞれの地区の特徴を活かした魅力発掘、さらなる磨き上げに取り組みます。

【推進していく主な取組】

- 小倉城とその周辺の魅力向上
- 門司港レトロ・和布刈地区の魅力向上
- 【新】市内を一望できる絶景・皿倉エリアの魅力向上
- 「ものづくりのまち」北九州の魅力を体験できる産業観光コンテンツの開拓
- 北九州市の魅力あふれる食のPRや新たな名物・おみやげものづくりの検討



北九州エコタウンでの産業観光の様子

地区別アクションプラン

「小倉都心部」「皿倉・東田地区」「門司港レトロ・和布刈地区」の3地区を重点エリアとし、観光振興プランのリーディングプロジェクトを策定します。また、3地区をけん引役として、市内各地への周遊を促します。

小倉都心部

歴史・文化から食・エンタメまで、多様な魅力があふれる都市型観光拠点『城下町 小倉』

- 安全で快適にまち歩きを楽しめる環境整備
- 小倉城・小倉城庭園への誘客と域内周遊の促進 など



小倉城

皿倉・東田地区

北九州市の「現在」「過去」「未来」をすべて学び、楽しめる“まちごとミュージアム”『皿倉・東田』

- 皿倉山頂施設の一層の魅力向上
- 東田地区内の回遊性の向上 など



東田第一高炉

門司港レトロ・
和布刈地区

九州最北端の港町リゾート『門司港レトロ』

- ガイドライン策定やターゲットの明確化によるブランディング構築
- 観光DXやパブリックアートを活かした集客 など



門司港駅

戦略1-2 | 新しい魅力の発掘・創出

地域にはさまざまな観光資源が眠っています。

「暮らす人」の視点では、観光資源としては気がつかなかった生活の一部が、「訪れる人」の視点では、大きな魅力を持つ資源である場合が少なくありません。

観光に対するニーズが多様化する現在、あらゆる地域が「旅の目的地」となれる可能性を秘めています。

北九州市においても、若松北海岸をはじめ平尾台、河内などの自然景観の魅力を改めて見つめ直し、観光のトレンドを意識しながら、食の提供や、マリンスポーツ、農園などで栽培された野菜や果物の収穫体験・漁業体験などを観光資源として活かす取組を進めていきます。

特に、美しい景色が連なる若松北海岸は、夕日の名所で知られる「遠見ヶ鼻」、干潮時に板状の岩盤を見せる「千畳敷」、マリンスポーツやフィッシングで親しまれる脇田海岸一帯など、観光地として高いポテンシャルを有しています。

このように「まだ知られていない」「もっと知って欲しい」観光資源を発掘し、磨き上げ、新たな観光の魅力としてPRすることができれば、地域にとっての観光振興にもつながります。

また、観光の切り口としての「スポーツ」や、DXなど新たな技術とのコラボレーションによって、新しいコンテンツを創出することも可能です。

【推進していく主な取組】

- 若松北海岸など自然を活かした体験型、滞在型観光の促進
- 都心からアクセスしやすい自然環境(海、山、川など)で楽しめるアウトドアレジャー(アーバンアウトドア)の魅力の発信
- 【新】民間活力を活かしたカフェ・グランピング施設などの設置
- 【新】観る・応援する・参加するスポーツツーリズムの振興、ワーケーション、コワーキングスペース※8の利用者などへの観光PR



遠見ヶ鼻から望む夕日



若松産野菜

※8 コワーキングスペース…さまざまな職種、所属の人たちが空間を共有しながら仕事を行うスペース

戦略I-3 | 夜景を中心とした夜型観光の魅力向上

北九州市は、「日本新三大夜景都市」全国一位に認定されており、8つの「日本夜景遺産」や「工場夜景」などバラエティ豊かな夜景が高く評価されています。この夜景を中心に、地元商店街や飲食店などとの連携強化、夜間、早朝の魅力を体験できるイベントや快適な夜型観光を楽しめる環境整備などに取り組みます。

【推進していく主な取組】

- 【新】宿泊施設と連携した地元飲食店などへの誘導によるナイトタイムエコノミーの促進
- 夜間、早朝での誘客イベントの実施
- ライトアップによる夜間景観の向上や安全安心な夜景観賞のための環境整備

戦略I-4 | もう一か所、もう一泊を促す「プラスワン観光」につなげる 観光資源、文化関連施設の「ストーリー化」

個々の観光資源の魅力向上とともに、それらを歴史や文化、人、食、まちなどのストーリーでつなぐことによって、よりディープな魅力が生まれます。その魅力を多くの人に知っていただくため、交通事業者や市内観光事業者などと連携し、(市外から)北九州市内に観光客を呼び込むための「しかけ」づくりに取り組みます。

また、ビジネスやスポーツ観戦で訪れた人などが立ち寄りたくなる魅力の発信、効率的に市内を周遊できる環境の整備、観光施設間の連携強化などを図ります。

さらに、宿泊客のうち、大きな比重を占めるビジネス客をターゲットにもう一か所、もう一泊を促す取組を推進します。

【推進していく主な取組】

- 【新】交通事業者などと連携した、北九州市をハブにした周遊プランの検討
- 【新】歴史や文化などのストーリーを意識した観光モデルコースの磨き上げ
- ポップカルチャー、映画やドラマ等のロケ地など、文化芸術を活かした誘客促進
- 【新】(再掲) 観る・応援する・参加するスポーツツーリズムの振興、ワーケーション、コワーキングスペースの利用者などへの観光PR
- 【新】(再掲) 宿泊施設と連携した地元飲食店などへの誘導によるナイトタイムエコノミーの促進



ミクニワールドスタジアム

戦略Ⅱ

ファン・リピーターづくりのための戦略的なプロモーション

基本的な考え方

人口減少などによって国内観光市場が縮小する中で、北九州市のファンやリピーターを増やす重要性が高まっています。

ファンやリピーターを獲得するためには、まず「暮らす人」が北九州市を深く知り、地域への愛着や親しみを抱いて、ディープな魅力を発信することが重要です。また、そのような情報を、個人観光客、ビジネス客、外国人観光客などの分野別に、他のシティプロモーション関連施策などとの連携も図りながら、効果的な方法で発信していきます。

今後の取組方針

戦略Ⅱ-1 | 市民や近郊在住者が自ら発信したくなる仕組みづくり

「暮らす人」が自ら北九州市の魅力を発掘し、SNSなどを活用して発信するきっかけとなる仕組みを構築します。

【推進していく主な取組】

- 【新】パブリックアートなど気軽に発信できるフォトスポットづくりの検討
- 写真や動画等のコンテストなど市民や来訪者による発信を促す仕組みづくり

戦略Ⅱ-2 | 旅マエからわくわくするディープな北九州市の発信

戦略Ⅱ-1などで得られるディープな(わくわくする)北九州市の魅力を集約し、気軽に行きたくするような情報発信ができる仕組みを整えます。

【推進していく主な取組】

- 観光情報サイト「ぐるリッチ!北Q州」や観光案内所での多様なニーズに合わせた案内機能の強化
- 市民もメディアも活用できるフリー素材の一層の充実
- 地域の魅力を伝える地元ウェブメディアなどとの連携やSNSを活用した情報発信の強化
- 【新】市民が自ら体験し、魅力を発信する「クチコミ」を活かす仕組みの検討



北九州総合観光案内所

戦略Ⅱ-3 | ビジネス・MICEなど様々な目的で訪れる方への「プラスワン観光」を促すプロモーションの強化

ビジネス・MICEでの来訪者も、北九州市の重要なゲストです。出張などの機会を活用し、北九州市の魅力を楽しんでもらう「プラスワン観光」を積極的に生み出します。

【推進していく主な取組】

- アフターコンベンションなどで楽しめる観光資源の一層の強化とその発信
- 【新】(再掲) 宿泊施設と連携した地元飲食店などへの誘導によるナイトタイムエコノミーの促進
- (再掲) 観光情報サイト「ぐるリッチ!北Q州」や観光案内所での多様なニーズに合わせた案内機能の強化

戦略II-4 | インバウンドへの戦略的対応

インバウンド市場は今後も拡大が期待できる重要市場であり、北九州空港や福岡空港は、その玄関口として重要な役割を果たしています。北九州市を訪れる外国人観光客の約8割を占める韓国・台湾・中国・香港の方々は、訪日リピーターも多いことから、ディープな北九州市の情報や快適で楽しい体験を提供しています。

【推進していく主な取組】

- 北九州空港・福岡空港を軸にした多角的な誘客プロモーション
- 大規模イベント・スポーツ大会などの機会を活かした情報発信
- 【新】観光施設などにおける多言語案内の強化
- 【新】観光施設などのキャッシュレス対応やデジタルチケットの導入の推進

戦略II-5 | 北九州市の強みを活かした修学旅行・産業観光のコンテンツ強化

北九州市は公害を克服した歴史、SDGsを学べるプログラムのほか、日本の近代化に貢献した産業遺産などを見学・体感できる産業観光のコンテンツが充実しています。このような強みをさらに活かし、体験メニュー、学習プログラムを開拓し、一層充実させることで、修学旅行や産業観光の拡大に取り組みます。

【推進していく主な取組】

- SDGs未来都市北九州ならではの修学旅行用メニュー、体験学習プログラムの充実
- 北九州エコタウンや響灘ビオトープなどの修学旅行・産業観光コンテンツのPR
- (再掲)「ものづくりのまち」北九州の魅力を体験できる産業観光コンテンツの開拓



北九州エコタウンでの修学旅行の様子

戦略II-6 | MICEやイベントなどの誘致強化

北九州市は、グローバルMICE都市として、大規模集客イベントや国際会議、学会などを積極的に誘致しています。引き続き、脱炭素、DX(デジタルトランスフォーメーション)など社会ニーズを的確に捉え、市内産業の振興や集客に資する誘致活動とともに開催環境の快適性向上にも取り組んでいきます。

【推進していく主な取組】

- 社会ニーズに対応した大規模集客イベントなどの誘致
- 安全安心・快適なMICE開催のための設備・機能強化



北九州ポップカルチャーフェスティバル



Horasisアジアミーティングの様子